



平成 29 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 トップカルチャー
 代表者名 代表取締役社長 清水 秀雄
 (コード番号 7640・東証 第1部)
 問合せ先 取締役 管理部長 遠海 武則
 T E L 025-232-0008
<http://www.topculture.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 10 月 27 日付の取締役会書面決議に基づき、平成 28 年 12 月 8 日に公表いたしました平成 29 年 10 月期（平成 28 年 11 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 10 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 11 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	35,200	820	780	460	38.07
今回修正予想 (B)	31,273	210	157	64	5.30
増減額 (B-A)	△3,927	△610	△623	△396	—
増減率 (%)	△11.2	△74.4	△79.9	△86.1	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 10 月期)	31,745	744	700	378	31.30

2. 平成 29 年 10 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 11 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	34,400	740	770	460	38.07
今回修正予想 (B)	30,418	127	152	62	5.13
増減額 (B-A)	△3,982	△613	△618	△398	—
増減率 (%)	△11.6	△82.8	△80.3	△86.5	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 10 月期)	30,935	664	702	379	31.38

3. 業績予想修正の理由

当社グループの主軸である蔦屋書店事業において、売上高は主に、書籍がほぼ前年並みに推移したものの目標よりも乖離しました。またレンタルにおいても目標より乖離しました。対策として 4 月より既存店のリニューアルに積極的に取り組み、売場の効率化、新規商材の導入、またテナント新規導入での来店価値の上昇を図ったことが奏功し、特撰雑貨・文具を中心に前年より大きく増加しましたが、売上高全体の乖離を補うまでに至らず未達となりました。

また、売上高未達による利益減少をカバーすべく粗利改善、セルフレジ導入など運営の効率化も併せて実施しましたが補うことができず、結果、売上高、各利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなりました。このような状況から、平成 28 年 12 月 8 日に公表した平成 29 年 10 月期の通期業績予想を連結・個別ともに修正するものであります。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上